

令和5年度

租税教育実践発表会資料

石巻市立寄磯小学校

教諭 菊地 亜由美

1 はじめに

平成元年に消費税が導入されてから段階的に税率は引き上げられ、平成31年には消費税率は10%となった。児童は、商品を購入した際に消費税を支払うことが当たり前だと思っているが、その税率が適切かどうかを考える機会は少ないであろう。選挙権が18歳に引き下げられ、様々な学習の中で、政治に興味を持たせ、社会参画する意識付けをすることが求められている。今回の学習を通して、社会的事象について自分の考えを持たせるきっかけとしたい。

2 児童の実態

本校は、牡鹿半島の東側に位置する全校児童2名の小さな学校である。今年度は、6年児童1名、3年児童1名複式学級を編成している。本校で行う税務署による租税教室は5、6年生を対象とし、隔年で行っている。今年度の6年児童は、昨年度租税教室を実施し、税の仕組みや税の役割についてはある程度理解している。今年度、6年生の公民分野で国の政治の仕組みや税の役割について学習した際には、「税は国民の生活にとって不可欠なものである」という考えを持っていた。6年児童は、私たちの生活と政治がどのように関連しているのかということについて興味関心が高く、家庭学習で疑問に思ったことなどを自発的に調べる姿も見られた。

3 指導に当たって

児童の実態を踏まえ、以下の点に留意して指導に当たっていく。

- 税に関する知識を深めさせ、様々な視点から現行の税制度について考えられるようにする。
- 授業の始めと終わりに税に関するイメージを挙げ、税に対する自己の考え方の変化に気付かせる。
- 世界と日本の税制度を比較させ、より広い視野で税について考えるきっかけを作り、児童の興味関心を高める。



4 指導の実際

(1) 指導計画

	学習活動
つかむ	6年社会科 「私たちの生活と政治」 ・税金の使い道が国会で決められていることを知る。 ・選挙により、国民の意見が政治に反映されることを知る。 ・東日本大震災からの復興・復旧に向けた国の取り組みについて知る。
知る	小学校社会科学習資料 「わたしたちのくらしと税金」 ・わたしたちの周りではたくさんの税金が使われていることを知る。 ・子供一人あたりの教育にどれくらいの税金が使われているかを知る。 ・税金の種類や税金の使い道について知る。
深める	学研プラス「いつか選挙に行く君に知っておいてほしいこと I 生活と税金・法律について」 ・世界の税制度や社会保障制度について知る。 ・日本の税率は10%でよいかについて考える。

(2) 実践内容

つかむ 小学校社会科学習資料 「わたしたちの暮らしと税金」	
<p>主な学習活動</p> <ol style="list-style-type: none"> 「税」に関するイメージを挙げる。 <ul style="list-style-type: none"> よいイメージはピンク色付箋，悪いイメージは青色付箋，その他黄色付箋で分けて記入する。 「わたしたちの暮らしと税金」を活用し，学習を進める。 授業を通して新たに知ったことを加筆する。 <ul style="list-style-type: none"> 上段が授業の導入で記入した税に対するイメージ，下段が授業を通して分かったことを加筆したもの。 	<p>学習の様子</p>  <p>宮城県租税教育推進協議会，仙台国税局企画・制作 小学校社会科学習資料 「わたしたちの暮らしと税金」</p> 
	

<p>深める 学研プラス「いつか選挙に行く君に知っておいてほしいこと」 Ⅰ 生活と税金・法律について」</p>	
<p>主な学習活動</p> <ol style="list-style-type: none"> 世界の税率や，医療費，教育費に使われている額を知る。 世界と日本の税制度を比較し，考えたことを発表する。 日本の税率10%は高いか，低いかにについて考える。 	<p>学習の様子</p>  <p>学研プラス 「いつか選挙に行く君に知っておいてほしいこと」 監修 宇野重規</p> 
<p>税率10%は高い？低い？</p> <p>高い 理由は、10%で社会補償や医療負担、学校に必要なものを揃えられていると思うからです。他の国と比べると10%は低い方だと私は思いますが、最近物価が上がっていて、税率が上がるとさらに支払うお金が増えて困るので、できればこれ以上税率を上げないで欲しいと思いました。</p>	

5 成果と課題

(1) 成果

- ・教科書だけでは、税の仕組みや税金の使われ方を詳しく学ぶことができなかつたので、様々な資料を活用しながら学習を進めたことで、税制度の実際を知ることができ、児童の興味関心が一層高まった。
- ・図書室の本を活用して学習を進めたことで、同じシリーズの本にも興味を持ち、自発的に読んだり、更に自分で調べたりするようになった。
- ・「税率は低い方がよい」、「税率が高いと商品の値段以外にもたくさん支払わなければならない」という考えを児童が持っていたが、他国と日本の税制度を比較したことで税率が高いことのよさについても知ることができ、新たな視点から税について考える機会となった。

(2) 課題

- ・本校では、隔年で租税教室を行っているが、教科書で国の政治の仕組みや税について学んだあとの方が租税教室の効果が高くなると感じた。
- ・児童1名での授業であったため、他者と意見を交流することができなかつた。「税率10%は高いか？低いかわ？」という問いに対して、学習したことをもとに自分の考えを持つことができていたので、牡鹿地区の6年児童と考えを交流するなど、話し合いによってより考えを深める機会を設けられたら更に学習効果が高まると感じた。